

草野仁さんが振り込め詐欺被害に注意喚起

10月19日、セッション杉並では、区内警察署など関係機関や地域団体のメンバーなど450名ほどが参加し、区内の防犯力を高めることを目指した「杉並区民地域安全のつどい」が開催されました。このつどいには、テレビキャスターの草野仁さんが登場し、振り込め詐欺の被害に遭わないように注意を呼びかけました。

10月11日から全国地域安全運動が実施されています。この運動は、それぞれの地区の防犯協会や関係機関が連携して、犯罪や事故のない安全で住みよいまちをつくることを目的にしています。杉並区では、昨日も練馬区との区境合同パトロールを実施し、隣接する中野・渋谷・世田谷・三鷹・武蔵野のすべての自治体と協力体制が整いました。このほかにも、日常的な安全パトロールの実施や防犯カメラの設置促進を通じて、安全・安心なまちづくりに取り組んできました。こうした取り組みの結果、杉並区内の空き巣被害は、平成14年の1,711件から平成29年は108件へと大幅な減少となりました。

しかし、振り込め詐欺については、依然として多くの被害が報告されています。平成29年中の振り込め詐欺の被害状況は、東京都では3,510件64億5,242万円が報告されています。杉並区内での発生件数は174件で、世田谷区、足立区、練馬区に次いで、23区で4番目に多い状況となっています。これまで、留守番電話機能の利用促進などの被害防止啓蒙活動に取り組んできましたが、詐欺集団の手口は巧妙であり、また、被害者の多くが自分だけは大丈夫という考えを持っているということも、被害根絶を難しくしています。

19日午後2時、セッション杉並で開かれた地域安全のつどいには、地域住民など450人ほどが参加。そのステージには、テレビキャスターの草野仁さんが登場しました。草野さんが長年に渡って司会を務める番組の経験などから「自分は高齢者だからと思わないで、いくつになっても脳をフルに使うことが重要です。自分の好きなことを勉強し続けることで若さを保ち、振り込め詐欺に騙されないようにしましょう。」と呼びかけました。



【問い合わせ先】

危機管理室地域安全担当：03-3312-2111 内線1582